

コース案内

基盤医学コース

医学・生命科学領域での研究者および教育者の育成を目的とするコース

将来、研究者として自立できるだけの幅広い専門知識と研究に必要な実験のデザインなどの研究手法や研究遂行能力を修得します。さらに専門的知識を学際的な医学・生命科学研究に活用・応用する能力を培います。

臨床医学コース

優れた臨床技術と研究能力を兼ね備えた臨床医等の育成を目的とするコース

モデル動物や細胞を用いた従来の基礎医学研究手法による研究ではなく、人を対象とした臨床医学研究遂行能力を修得します。大学病院で診ることのできない症例や高度で専門的な診断・検査・治療を行っている特色ある医療機関に設置する「臨床系連携講座」で、専任教員と第一線の臨床医である連携教員による複数指導体制の下、理論と実践を融合した臨床医学研究を行うことも可能です。

社会医学コース

地域社会や国際的なレベルの健康・安全の維持・向上に

幅広い知識と高い技能をもって取り組むことのできる人材の育成を目的とするコース

生物学、生命科学のアプローチとは異なる社会医学的、予防医学的視点から、研究倫理、統計学の基礎と応用、医療情報学、EBM(エビデンスに基づく医療)などの社会医学研究法を修得した上で、公衆衛生学や予防医学分野における研究手法や研究遂行能力を培います。

■コース選択制度

医学院担当教員がすべての学生の指導・教育に参画できる体制である単一専攻制(医学専攻のみ)を導入し、社会の多様なニーズに対応した目的別のコース制による融合教育を行っています。

■標準履修期間:4年間

- 短縮修了: 英文学術雑誌に掲載の英語基礎論文2編以上で、履修年限を最大1年間短縮可能です(他に要件あり)。
- 長期履修: 社会人の場合、4年分の授業料で最大6年間在学可能です。

■中間審査

3年次の最初に中間審査を行い、審査員による進行状況のチェックを受けます。

■修了要件

- ①学位論文の提出
- ②申請者が第一著者となっている英文の基礎論文を1編以上(投稿中でも良い)提出
- ③所定の単位30単位以上(平成28年度以前の入学者は、40単位以上)の修得

■履修モデル



★研究志向型医師を目指す場合、後期臨床研修と組み合わせることにより、効率よく学位を取得することができます。

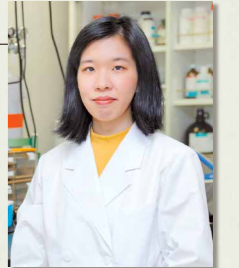
MESSAGE コース在籍者からのメッセージ

新発見の連続

基盤医学コース / 神経薬理学教室(平成28年度入学)

根深 真央

他大学薬学部を卒業後、研究への興味関心に導かれ博士課程へと進学しました。本格的な研究はこちらに進学してから初めて経験しています。現在は、恐怖に対する中枢セロトニン神経系の役割をテーマに研究しています。セロトニン神経の起始核から海馬への神経回路は、不安や恐怖に重要であることが知られています。私は、海馬のセロトニン神経系に着目し、マウスを用いた行動薬理学的実験を中心に研究しています。先生方を始め多くの方に支えられながら毎日研究ができる環境は、本当に恵まれていると思います。日々の研究は新しい発見の連続です。この喜びを皆さんと共に分かち合える日を心待ちにしています。



臨床につながる研究を

臨床医学コース / 眼科学教室(平成27年度入学)

廣岡 季里子

眼科の検査技師である視能訓練士として働きながら、大学院博士課程3年目の春を迎えました。研究テーマは、眼の血流組織について形態的および機能的に検討することで、眼血流の循環障害や過灌流を起こすような疾患をメインに画像解析機器を用いて研究を進めています。視能訓練士として臨床の現場で実際に眼の検査をし、そこで得られたデータを解析して形にすることが大学院での研究内容なので、視能訓練士としての仕事と大学院生としての研究が非常にリンクしている環境です。眼から入る情報は人間の感覚の約80%とされており、視覚は変化を感じやすく、非常に繊細であることを臨床の現場から日々感じています。自分の研究がいつか臨床に還元されることを信じ、経験者にしか分からないやがやがを噛みしめています。



医学研究の新しい世界

社会医学コース / レギュラトリーサイエンス教室(平成26年度入学)

前田 浩次郎

「レギュラトリーサイエンス」、この言葉を聞いたことがある方はあまりいないと思います。今でも一体何を研究しているのか尋ねられることがあります。レギュラトリーサイエンスとは、規制のあり方を考える科学であり、医薬品、医療機器の開発・評価に用いるための科学です。自分がこの分野に興味を持ったのは医学分野における主に生物実験を行うウェット側とデータベースなどin silicoの実験を行うドライ側の橋渡しをしたい、そう思い立って本大学院への進学を決めました。現在はオーファンドラッグの国内外臨床データパッケージの比較を行っています。レギュラトリーサイエンスは大学・行政・企業など広い分野にわたり、その研究は自分の創意工夫によって様々な形を持ち、あらゆる可能性を秘めた新しい世界です。荒戸先生を始めとする多くの方々と共に研究する日々は大変充実しております。皆さんと一緒に研究ができることを心待ちにしております。



大学院臨床系連携講座

大学院臨床系連携講座は、博士課程臨床医学コース選択者を対象に、臨床医学研究の展開を図ることを目的として、札幌市内12、道内12の病院と医療機関に設置されています(平成29年4月現在)。大学病院で診ることのできない患者情報の収集や、高度かつ専門的な診断・検査・治療を行う特色ある医療機関において、第一線で活躍する臨床医から研究指導を受け、併せて専任教員による複数指導体制のもと理論と実践を融合した教育を展開しています。なお、臨床医学コースの研究内容は、大学院あるいは連携講座の設置されている医療機関での診療を通じて得られた臨床検体、臨床情報の解析が含まれていることを前提とするものです。

●臨床系連携講座が設置されている医療機関(名称)計24

市立札幌病院 / 北海道がんセンター / 函館中央病院 / 恵佑会札幌病院 / 札幌麻生脳神経外科病院 / 斗南病院 / 帯広病院 / 北海道医療センター / 苫小牧市立病院 / えいわ病院 / 北海道整形外科記念病院 / 函館病院 / 漢和会江別病院 / 手稲溪仁会病院 / 北海道せき損センター / 北海道脳神経外科記念病院 / 札幌厚生病院 / 帯広厚生病院 / 旭川赤十字病院 / NTT東日本札幌病院 / 柏葉脳神経外科病院 / 製鉄記念室蘭病院 / 釧路労災病院 / 市立函館病院